

再スタート！！

ここから始まるストーリー！！



前を向く

8月1日から始まった夏休み。8月13日から始まる予定だった2学期もコロナウイルスの影響で延期になり、今日になりました。

学校便り

発行元
宜野座中
校長
伊波寿光

沖縄県も緊急事態宣言を発令して、もう一度県民が一丸となってコロナウイルス感染防止に向き合っています。先日、テレビを見てみると熊本県の野球部の高校3年生の事が放映されていました。その高校生は「①中学3年生のときは、熊本の地震のために中体連大会に出られず」、

「②高校生になって1年生のときは九州の集中豪雨のために大会に出られず」、そして今回、「③高校3年の最後の大会もコロナウイルスの影響で甲子園熊本大会の予選が中止になりました。」

自然災害などの影響で18年の人生において3度の大きなチャンス逃してきました。

感染防止

コロナウイルス感染防止のため、トイレの使い方に変更があります。トイレを使用する場合は、スリッパに履き替えて使用します。教室内、廊下の衛生管理を徹底し学校での感染防止をしていきます。それと合わせて「スリッパをきちんと並べる」などの事にも気を使ってください。また、トイレの清掃当番は担当の先生から「清掃の方法」についての説明があります。みんなで協力して「感染防止」に努めましょう。

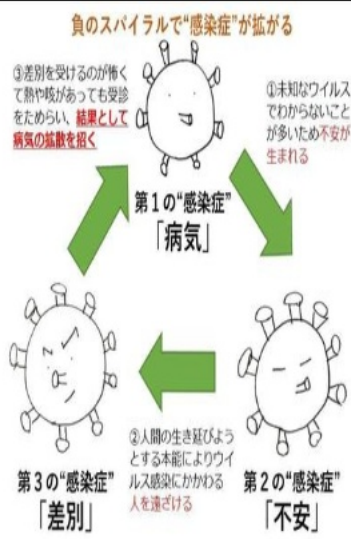
しかし、地元、熊本県の配慮で小さな地区大会を開催することになり、やっと念願の大会参加ができました。ここまで5年間、3度の大会への不参加がありました。それでも野球を続けて頑張っていました。この生徒はインタビューでこう言っていました。「何があっても前を向いてきました。今、できなくても将来、自分のためになる」と信じているので、さて、今日から始まる2学期、再スタート。

差別・偏見に
気を付ける

6月の再登校の時も先生方から話がありましたがコロナウイルス感染症による「心ない言葉」や「差別・偏見」が無いように気を付けていきましょう。感染症は「誰がかかってもおかしくない」病気です。だからお互い

の体調管理も大切ですが、「もし自分が・・・」「もし友達や知り合いが・・・」と考え、「差別や偏見」そして「言葉遣い」に気を使っていきましょう。みんなが「安心して学ぶ」ことができる宜野座中学校にしましょう。

3つの“感染症”は
どうつながっているの？



この“感染症”の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながるからです。

